



# 己に厳しく 人に優しく

## 笑顔 感動 創造

令和2年9月3日

第5号

波佐見町立波佐見中学校  
校長 楠本 洋一

いよいよ2学期が始まりました。夏休み中は、大きな事故や問題もなく、無事に2学期を迎えることができ、大変嬉しく思います。また、コロナウィルスの感染も波佐見中の生徒や保護者の皆様からは発症していないことがわかり、安堵しているところです。

子どもたちの自覚はもちろんのこと、保護者や地域の皆様のご支援・ご協力があったることと感謝いたします。

子どもたちは、コロナ禍の中でいつもより短い夏休みではありましたが、ご家庭での行事や家庭学習に、また、新チームになっての部活動の練習にと有意義な日々を過ごしたことを思います。

2学期は、コロナ禍ではありますが、縮小しての学校行事や体験活動を予定しています。子どもたちには、活躍の場を通して、さらなる心身の成長を願っているところです。

2学期も保護者の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。



### 始業式の校長講話より（9月1日）

始業式では、三つのことについて、子どもたちに話をしました。以下は、実際の内容です。

一つ目は、今年度もキーワードにしている「笑顔・感動・創造」を深めていきましょう。1学期は、君たち一人一人が「笑顔」になるように、話してきました。新しい環境の中で、日々の学校生活で生まれる「笑顔」、授業が分かることで生まれる「笑顔」を大切にしたいと話しました。

2学期は、仲間とともに「笑顔に」、仲間とともに「感動を」、そして、実現のための「創造」について考えてください。具体的には、全体の中で「自分の考えを出すこと」「他の人の意見を聴くこと」そして、集団全体として「考えや意見をまとめること。まとまった意見に沿って、行動に移すこと。練習をすること。」このプロセスの繰り返しが、君たちを一段と成長させると信じています。仲間との関わりの中で、「心の成長」を期待しています。そして、この活動が、波佐見中学校の「これまでの伝統を守ること」であり、よりよいものという発想が「新しい伝統をつくる」と考えています。

二つ目は、1学期のアンケート（学校評価）から見えてきた課題があります。「家庭学習の不十分さ」「学習内容の定着へ向けての努力不足」が、課題として見えてきました。改善の方法として、本校の授業で力を入れている「グループ学習での学び合い」の重点化をお願いします。そして、「お互いに分かる・できるようになる」ことの実践をしていきましょう。さらには、学校行事等で培った「絆」「信頼」を、学習にも大いに生かせる学級集団になりましょう。よく受験は、団体戦とも言われます。仲間同士が、分かり合い・信頼が深まった学級は、お互いを高め合うことができます。お互いに相談しやすい雰囲気ができます。このような学級集団を目指し、そのような環境の中で、学習に専念してほしいと思います。

三つ目に、あいさつの徹底です。それも、一旦立ち止まってのあいさつです。一般に「ワンストップでのあいさつ」と言われるものです。「全校生徒が心をつなげて」取り組むことで、次のような効果が生まれます。

1 学校生活に、落ち着きが生まれます。

2 波佐見中の生徒一人一人に、自信と誇りが生まれます。 以下省略

2学期は、今話したこと「心の成長 新たな伝統への挑戦」「お互いに学び合える集団」を目標に、頑張りましょう。充実した2学期を過ごし、君たちの一回り大きく成長した姿を期待しています。

### 学校評価のアンケートありがとうございました！

裏面に、集計結果を記載しています。ご覧ください。



